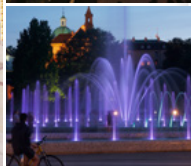
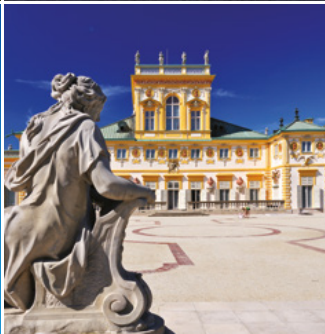
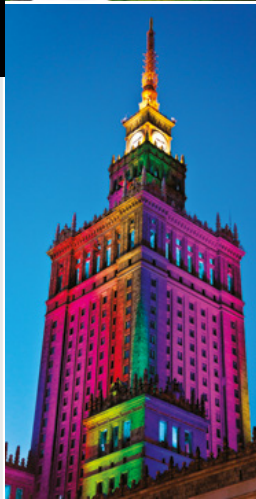
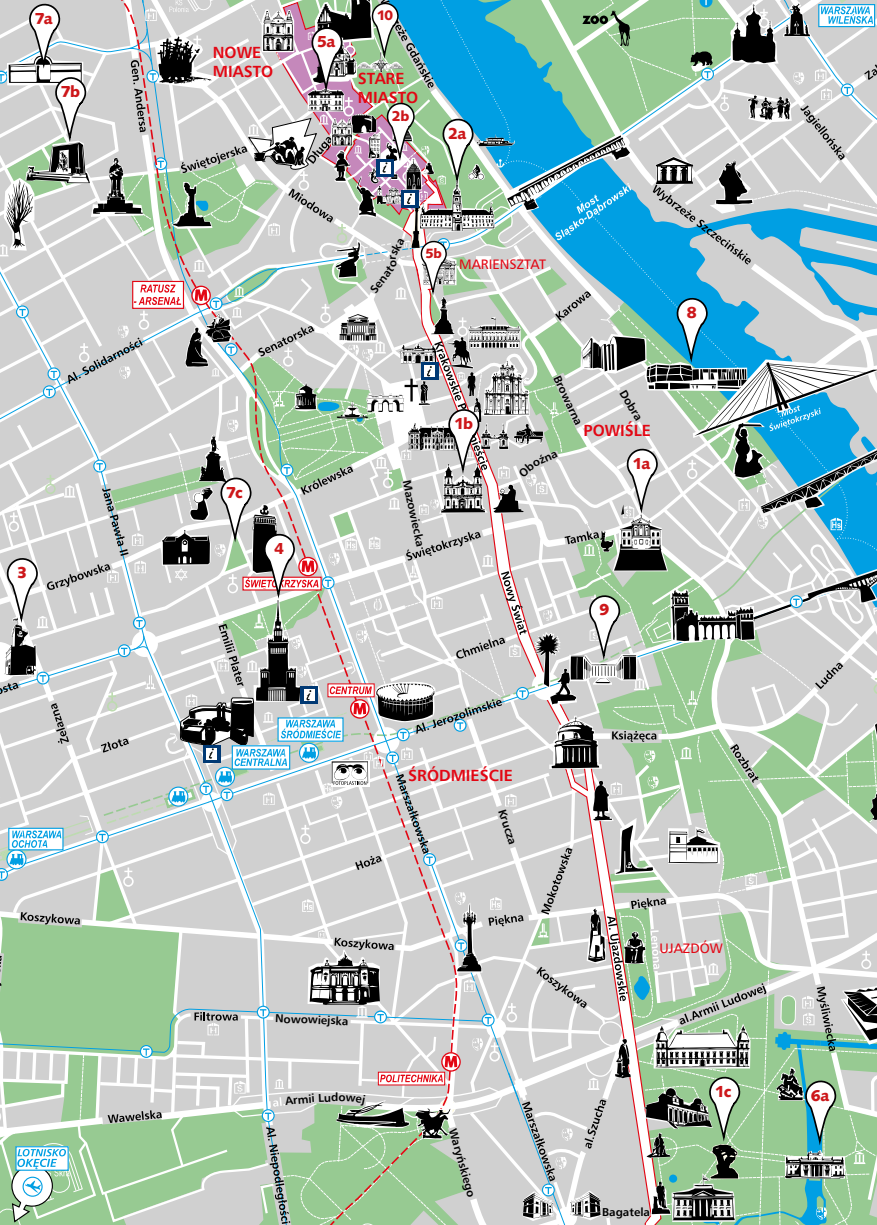




# ワルシャワの TOP 10





NOWE  
MIASTO

STARE  
MIASTO

MARIENSZTAT

POWISZE

ŚRÓDMIEŚCIE

UJAZDÓW

RATUSZ  
-  
ARSENAL

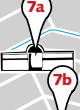
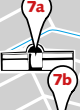
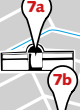
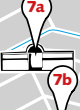
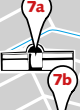
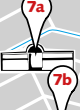
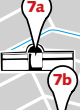
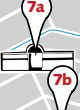
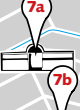
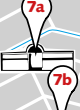
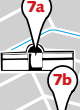
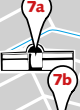
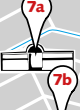
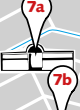
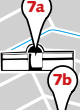
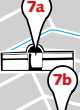
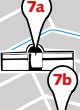
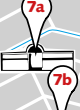
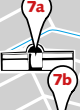
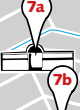
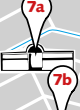
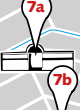
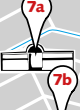
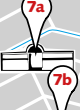
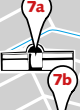
ŚWIĘTA  
KRZYŻKA

CENTRUM

WARSZAWA  
ŚRÓDMIEŚCIE

WARSZAWA  
CENTRALNA

POLITECHNIKA





# 記号

- 1 ワルシャワのショパンゆかりの地
  - 1a フレデリック・ショパン博物館
  - 1b 聖十字架教会
  - 1c ワジェンキ公園のショパン像
- 2 旧市街
  - 2a 王宮
  - 2b 旧市街市場広場
- 3 ワルシャワ蜂起博物館
- 4 文化科学宮殿
- 5 マリア・スクウォドフスカ=キュリーの足跡
  - 5a マリア・スクウォドフスカ=キュリー博物館
  - 5b 中央農業図書館
- 6 王の住居
  - 6a ワジェンキの王宮（ワジェンキ公園）
  - 6b ヴィラヌフ
- 7 ユダイカ
  - 7a ウムシュラークプラッツ（ワルシャワ・ゲットー）
  - 7b ゲットー蜂起記念碑
  - 7c グジボフスキ広場
- 8 コペルニクス科学センター
- 9 ワルシャワ国立博物館
- 10 マルチメディア噴水公園
-  ワルシャワ観光案内所
-  バス
-  トラム
-  地下鉄





聖十字架教会にショパンの心臓  
を納めた壺が安置されています。

## ワルシャワのショパン ゆかりの地

無料オーディオガイドはこちらへ：  
[www.um.warszawa.pl/chopin](http://www.um.warszawa.pl/chopin)

## 天才作曲家フレデリック・ショパンは その半生をワルシャワで過ごしました。

ワルシャワで育ち、教育を受け、多くの作品を作曲しました。  
マルチメディアを利用したベンチがショパンの足跡をご案内します。  
マルチメディア・ベンチはショパンにゆかりのある場所に設置されています。



マルチメディア・ベンチにはデジタルオーディオガイドや、オーディオ・ビデオ  
資料がダウンロードできるQRコードがついています。



# おすすめ!

## 見る

- ✓ **フレデリック・ショパン博物館**, ul. Okólnik 1 (ul. Tamka 41)

[www.chopin.museum/pl](http://www.chopin.museum/pl)

現代的で、マルチメディアを活用したインタラクティブな博物館は、ショパンに関するすばらしい展示品を数多く収蔵しています。その中にはショパンが最後に使っていたピアノやお気に入りのキャンディ・ボックス、ショパンのデスマスクや手型などを見ることができます。

- ✓ **ショパン家のサロン**, ul. Krakowskie Przedmieście 5

ショパンの友人であったアントニ・コルベルクのスケッチをもとに復元されたショパンがワルシャワで最後に暮らしていたアパートです。

## 聴く

- ✓ **ショパン像の傍らで開催されるコンサート、ワジェンキ公園**

Al. Ujazdowskie側の入り口, [www.lazienki-krolewskie.pl](http://www.lazienki-krolewskie.pl)

このピアノリサイタルは、毎年5月から9月末までの毎週日曜日12:00と16:00に開催されます。「ショパンと彼のヨーロッパ」国際音楽祭などの際にも、ワルシャワの様々なコンサート・ホールでショパンの音楽を楽しめます。インフォメーションは [www.pl.chopin.nifc.pl/festival](http://www.pl.chopin.nifc.pl/festival)

火曜日  
入館無料

入場無料

## 🚌 行き方

フレデリック・ショパン博物館へ 📍 Ordynacka: 111番、116番、128番、175番、180番、222番  
聖十字架教会とショパン家のサロンへ 📍 Uniwersytet: 102番、105番、111番、116番、175番、180番、222番、444番、503番、518番、E.2番、  
ショパンの像へ 📍 Łazienki Królewskie: 116番、166番、180番

1



ショパンの壁画:

- \* 文化科学宮殿の近く
- \* フレデリック・ショパン博物館の向かい側
- \* ul. Górnośląska 8



旧市街で  
待ち合わせをするほとんどの  
人は、ジグムント3世  
ヴァーサ像の下で  
落ち合います。

王宮の東側には  
ジグムント3世ヴァーサ像の  
過去に壊れた柱2本が  
倒れています。古い方は360年以上前、新しい  
方でも120年前のものです。



## 旧市街

王宮については：  [www.zamek-krolewski.pl](http://www.zamek-krolewski.pl)

### 旧市街には700年の歴史があります。

第二次世界大戦で完全に破壊されましたが、その後ゼロから復元されました。

1980年にはユネスコの世界文化遺産として登録されました。

王宮はワルシャワで最も人気のある観光スポットです。

王宮の中で王座や16世紀中期のブリュッセル・タバストリーなどの貴重な

展示品が集められています。王宮のたもとでは、ヴィスワ川に沿って、

クビツキ・アーケードが正確に復元され、またそこには

二段構えの庭園もあります。

夏は旧市街がオープン・エア・カフェでにぎわい、旧市街広場、新市街広場、アーケードは、いずれも  
様々なフェスティバルの舞台となります。冬になると旧市街と王の道は見事な  
イルミネーションで彩られます。

1644年に建てられた高さ22mのジグムントの像はワルシャワで最も古く最も高い

記念碑です。王宮広場の中心に位置し、クラクフからワルシャワへ首都を選した

ジグムント3世ヴァーザを偲ぶものです。第二次世界大戦で

破壊されましたが、現在の円柱台座は1945年以降に作られました。



王宮のコレクションのひとつに18世紀の画家

ベルナルド・ベロット（カナレット）の絵があります。彼は当時の様子を忠実に

描写しており、それが戦後のワルシャワ復元工事の際に貴重な

資料となりました。

# おすすめ!

## 見る

✓ **レンブラントの絵、王宮博物館、pl. Zamkowy 4, [www.zamek-krolewski.pl](http://www.zamek-krolewski.pl)**  
「額縁の中の少女」と「書見台での学者」はポーランドにあるオランダの巨匠の3作品のうち2枚です。

✓ **人魚の像**  
一つは、旧市街広場の中心に立ち、もう一つはシヴィエントクシスキ橋の近くにあります。上半身が女性で、下半身が魚の人魚のイメージは街のいたるところで見かけられます。

✓ **ワルシャワの地下**  
旧市街の地下室は「旧市街文化地下ルート」となっています (Brzozowa 2/13)。また聖ヤン大聖堂の地下には最後のポーランド国王スタニスワフ・アウグスト・ポニャトフスキと著名なピアニストであり政治家でもあったイグナツィ・パデレフスキが眠っています。

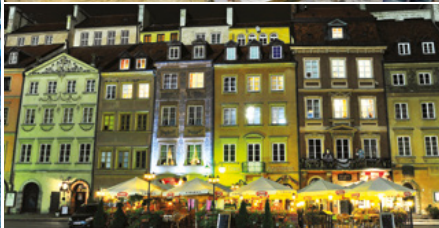
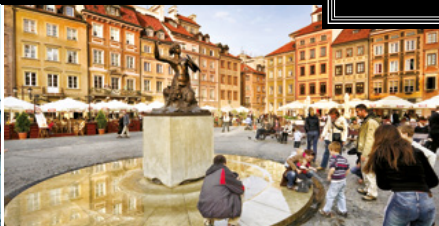
## 食べる

✓ **「ヴゼトカ」と「ジグムントゥフカ」**  
ワルシャワのシンボルともいえるこの有名なケーキは街のどこのお菓子屋さんにも置いてありますが、居心地のよい旧市街のカフェで召し上がると、ひときわおいしいでしょう。



## 🚶 行き方

- Ⓐ 王宮の広場: 116番、128番、175番、178番、180番、222番、503番、518番
- Ⓐ 旧市街: 160番、190番、226番、460番、512番、527番、718番、738番、805番
- Ⓣ 旧市街: 18番、20番、23番、26番





\* この博物館は20世紀初期の産業建築を代表する建物で、旧トラム用火力発電所内に設けられています。

## ワルシャワ蜂起博物館

—■ ul. Grzybowska 79, [www.1944.pl](http://www.1944.pl)

### 最新のマルチメディアが活用できる ワルシャワ蜂起博物館は1944年に始まったワルシャワ蜂起 60周年を記念してオープンしました。

インタラクティブな展示を通じて、現在のワルシャワの街に影響を与えた出来事について学ぶことができます。この博物館は、過去と現在が出会う場所です。ここでは講義や映画・演劇・コンサートなどが行われています。多くのイベントは、ドイツ占領軍に対する軍事行動開始の日である8月1日の前に行われます。

月曜日  
入館無料

\* 毎年8月1日は17時ちょうどにサイレンが鳴ると、しばらく交通が止まります。その時ワルシャワの人々はワルシャワ蜂起で戦った英雄達を偲びます。その時刻は、「W時」と呼ばれ、ワルシャワ蜂起のコードネームになりました。



# おすすめ!

## 見る

- ✓ **実物大の爆撃機** リベレーターB-24Jのレプリカ
- ✓ **野外ギャラリーにある一流の画家の壁絵** 「芸術の壁」と、戦いで命を落とした1.1万人の名前を彫り入れた「記憶の壁」。「記憶の壁」は博物館のそばにある「自由の公園」に建てられています

## 聴く

- ✓ **戦うワルシャワの街の鼓動が**、63日間の戦いの日程表が彫りこまれた金属の記念碑から聞こえてきます。

## 耳より情報

- ✓ **毎年ワルシャワ蜂起の記念日には**、少年バンドのトップグループのコンサート、「忘れない、ワルシャワ蜂起」というイベントが開催されます。

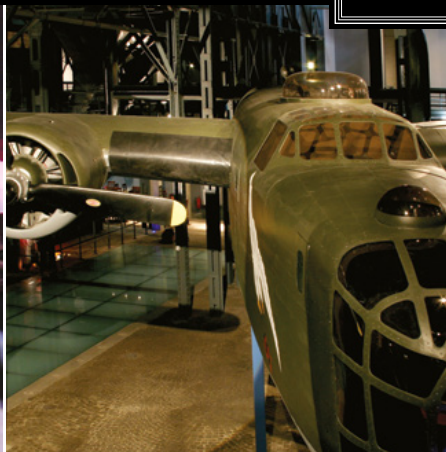
- ✱ 「Monter」（技術者）という鐘はワルシャワ蜂起の司令官であったアントニ・ハウルシチエル将軍を偲びます。



## 🚗 行き方

- Ⓐ ワルシャワ蜂起博物館：102番、105番、109番、178番
- ㉑ ワルシャワ蜂起博物館：1番、8番、22番、24番

3





\* 是非とも、30階まで昇って、ワルシャワのパノラマを一望ください。

文化科学宮殿



pl. Defilad 1, [www.pkin.pl](http://www.pkin.pl)

## 文化科学宮殿は尖塔の先端までの高さが237メートルの高層ビルです。

この文化科学宮殿には、3000室以上の部屋があり、4つの劇場、シネマコンプレックス、2団体のオーケストラ、2つの博物館、公共図書館が2館、ワルシャワ観光案内所などの90店のテナントが入っています。45階にはワルシャワの名前の由来となった「Wars」と「Sawa」の名前のついたハヤブサが二羽棲んでいます。

鳥のリアリティショーをご覧になりたい方は[www.webcam.peregrinus.pl](http://www.webcam.peregrinus.pl)へどうぞ。文化科学宮殿は「ソビエトからポーランド国民への贈り物」として建てられましたが、それはスターリンからの「贈り物」といわれ、ソ連による支配の象徴だとも言われます。

\* ポーランド語のツアーについて：

電話：22 656 77 17

外国語のツアー（英・露・独・仏）について：

- PTTK „Trakt” Przewodnickie Biuro Turystyczne, [www.trakt.com.pl](http://www.trakt.com.pl) または、
- Przewodnicy Warszawa, [www.przewodnicy.warszawa.pl](http://www.przewodnicy.warszawa.pl) にお問い合わせ下さい。

# おすすめ!

## 見る

- ✓ **宮殿の地下から屋上までのすべて。**見学ルートは、地下の迷路、宴会場、会議ホールとその楽屋、「レジネフのラウンジ」、30階の展望台などを巡るものです。

## 観光情報

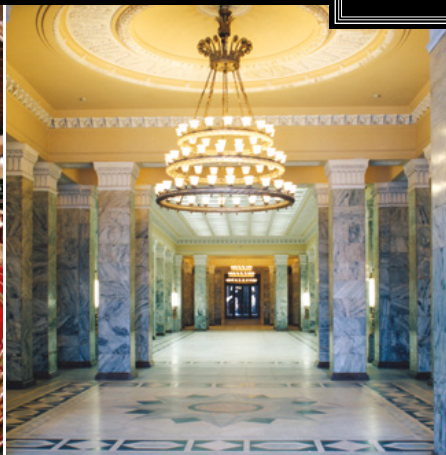
- ✓ **文化科学宮殿の会議ホールの舞台に、**マレーネ・ディートリッヒ、ローリング・ストーンズ、シャルル・アズナヴール、ルチアーノ・パヴァロッティ、エリック・クラプトン、ウディ・アレンと彼のバンドなどが上がりました。現在は、ここで頻繁にコンサートや演奏会が開催されています。
- ✓ **夜になると、文化科学宮殿のイルミネーション**の色が変わり、建物は華やかに揺らめきます。
- ✓ **2001年の元旦、**塔の最上部に「ミレニアム時計」が設置されました。4つある時計の文字盤の直径はそれぞれ約6メートルもあります。その時計のミニチュアが文化科学宮殿のホールに掛けられています。



## 行き方

① Centrum 117番、127番、128番、131番、158番、175番、227番、422番、501番、507番、517番、518番、519番、520番、521番、525番 ② Centrum: 4番、7番、8番、9番、15番、18番、22番、24番、35番、45番、74番、75番、77番、

4





Urodziłam się  
w Warszawie

Maria Skłodowska - Curie. Warszawianka,  
rocznik 1867. Wystąpienia publiczne zaczynała  
od słów: „Urodziłam się w Warszawie...”

Jedyna w historii podwójna noblistka.  
Odkryła pierwiastki rad i polon, za co 100 lat temu  
- w 1911 roku - uhonorowano ją Nagrodą Nobla.

M. Skłodowska-Curie 🏠

壁画

- \* ul. Lipowa 3
- \* ul. Wawelska 15
- \* ul. Nowolipki 11
- \* 「Metro Centrum」地下鉄入り口

## マリア・スクウォドフスカ=キュリーの足跡

無料オーディオ・ガイドは  
[www.sklodowska.um.warszawa.pl](http://www.sklodowska.um.warszawa.pl)

その発見により、歴史の流れを変えた人物の一人に、  
ポーランド女性がいます。

ワルシャワ生まれの優れた科学者、マリア・キュリー はソルボンヌ大学で  
女性として初めて教授に就任しました。また彼女は、2つの分野（化学と物理学）で  
ノーベル賞を受賞しています。ワルシャワには彼女にゆかりの地がたくさんあります。

中央農業図書館(ul. Krakowskie Przedmieście 66)

この中央農業図書館の中庭の研究室で、  
マリア・キュリーはソルボンヌ大学の試験のために化学の研究を  
進めていました。現在、中央農業図書館の  
壁には記念のプレートが飾られています。



- \* キュリー夫妻は、フランス生まれではないにもかかわらず、フランスの  
偉人の霊廟であるパリのパンテオンに埋葬されている唯一の人物です。

# おすすめ!

## 見る

- ✓ **生家**, ul. Freta 16, [www.muzeum-msc.pl](http://www.muzeum-msc.pl)  
マリア・キュリーが生まれた家は現在彼女を偲ぶ伝記博物館となっています。そこには、彼女のコート、眼鏡ケース、ポーランドでの放射線研究所設立のためにアメリカのポーランド人女性会から贈られたお金が入っていた鞆、アメリカ大統領ハーバート・フーヴァーから贈られた象の置物などが展示されています。
- ✓ **家族の墓**, ul. Powązkowska 14  
ワルシャワのスタレ・ボヴォンスキという古い墓地にマリアの両親と4人の兄弟たちが眠っています
- ✓ **ノーベル賞受賞者の木**, ul. Wawelska 15, [www.curie.org.pl](http://www.curie.org.pl)  
1932年にマリア・キュリーが植えた木は、今もなお、マリア・キュリーの大変な努力により発足した旧放射線研究所の庭に立っています。

## 🚶 行き方

マリア・スクウォドフスカ=キュリー博物館へ ④ PL Krasieńskich: 116番、178番、180番、518番、518番  
スタレ・ボヴォンスキへ ④ Powązki: 180番 旧放射線研究所へ ④ Wawelska: 157番、167番、182番、187番、523番 ④ Wawelska: 1番、7番、9番、15番、35番、77番



水上宮殿は、湖で囲まれた  
人口の島に建っています。  
島と陸側を結ぶのは、  
円柱の並ぶ2本の橋です。



## 王の住居

 行き方  
A Lazienki Królewskie: 116番、166番、180番

## 王のワジェンキ (ワジェンキ公園)

ul. Agrykola 1, [www.lazienki-krolewskie.pl](http://www.lazienki-krolewskie.pl)

ポーランドの最後の国王の夏の別荘は現在、ヨーロッパでも最も美しい  
宮殿と公園の一つといわれています。

公園は「王様の園」「ベルヴェデーレの園」「モダンな園」で構成され、  
総面積は76ヘクタールです。ここにはリス、アヒル、クジャク、白鳥などが棲んでいます。  
水上宮殿は国王スタニスワフ・アウグスト・ポニャトフスキが科学者や詩人を  
招待し、「木曜昼食会」と呼ばれる催しを開いていました。現在、水上宮殿は  
博物館になっていて、王の絵のコレクションを鑑賞できます。

### 見る価値がある

- ✓ フォルム・ロマネムを模倣した円形演技場
- ✓ 温室(旧オランジェリー)、ミシレヴィツキ宮殿、士官学校、ベルヴェデーレなどの  
公園内の建物。

### 耳より情報

- ✓ 現在ベルヴェデーレ宮殿は大統領官邸となっています。

公園とショパン・コンサート

入場無料

博物館

木曜日  
入館無料

# ヴィラヌフ



日曜日  
入館無料

ul. St. Kostki Potockiego 10/16, [www.wilanow-palac.art.pl](http://www.wilanow-palac.art.pl)

ヴィラヌフ宮殿は最初にヤン3世ソビエスキ国王、次にアウグスト2世、その後は貴族の所有となりました。フランスのバロック様式の別荘をまねてデザインされているため、「ポーランドのヴェルサイユ」と呼ばれていました。宮殿とヴィラヌフ湖の間には、二段構えのバロック様式のイタリア風庭園があります。また宮殿の南側にはロマンチズムのイギリス風庭園が広がっています。ヴィラヌフは壮大な愛の舞台にもなりました。1665年ヴィラヌフ宮殿でヤン3世ソビエスキ国王はヤン・ザモイスキの未亡人であったマリー・カシミール・ルイズ・ド・ラ・グランジェ・ダルキアン(別名:マリシェンカ王妃)と、最初は秘密裏に、その後公式に結婚式を挙げました。

## 見る価値がある

- ✓ **貴重な彫刻が集められた**トルコ風テントの形をしたガラスのパビリオン。
- ✓ **ポスター美術館**、あらゆる芸術様式・流派・傾向を代表するヴィラヌフ・コレクション。

## 耳より情報

- ✓ **夏、庭で開催される**クラシック音楽のコンサートは無料です。

### 行き方

④ ヴィラヌフ: 116番、139番、163番、164番、180番、519番、700番、710番、724番、725番、E-2番





ノジク・シナゴークは戦前のシナゴーク  
の中で唯一、いまでも活動しているシナゴークです。

## ユダイカ

### 🚶 行き方

ノジク・シナゴークとユダヤ劇場へ 📍 Pl. Grzybowski (グジボフスキ広場)  
102番、105番、109番、160番、174番、178番、444番

## ユダヤ人は、戦前のワルシャワ市民の30%を占めていました。

ワルシャワにはノーベル賞作家のアイザック・B・シンガーや、作家であり、医者でもある教育者のヤヌシュ・コルチャック、女優のイダ・カミニスカ、作曲家のウワディスワフ・シュピルマンも住んでいました。  
スタフキ通りにあるウムシュラクプラッツからザメンフォファ通りのワルシャワ・ゲッソーの英雄記念碑(ゲッソー蜂起記念碑)まで辿る「ユダヤ人の殉教と闘争の記念ルート」とゲッソーの外壁跡はユダヤ人の虐殺を記憶に刻むためのものです。ゲッソーの外壁のあったところは歩道に埋め込まれた鉄板が示しています。\*

## 立ち寄り価値がある

- ✓ **ワルシャワのユダヤ文化センターであったグジボフスキ広場。** 広場にはユダヤ劇場と「マガット」というユダヤ料理レストランがあります。ノジク・シナゴークは近くのトヴァルダ通りにあります。広場につながるプルジュナ通りは戦前のユダヤ区からワルシャワに残っている唯一の通りです。



- ✓ **ユダヤ劇場**, pl. Grzybowski (ゲジボフスキ広場) 12/16, [www.teatr-zydowski.art.pl](http://www.teatr-zydowski.art.pl),  
イディッシュ語で演じられる演劇があります。
- ✓ **ユダヤ歴史協会**, ul. Tlomackie 3/5, [www.jewishinstitute.org.pl](http://www.jewishinstitute.org.pl)  
ユダヤ歴史協会にはリングェルブルムが記したワルシャワ・ゲットー生活の記録が  
収められています。

## 耳より情報

- ✓ **シェーナ通りとズウォタ通りの間には**ゲットーの一部が  
唯一残っています。見学するには、ズウォタ通り62番地の中庭にお入りください。
- ✓ **千年の歴史**  
ポーランドのユダヤ人のインタラクティブな歴史博物館の建設は最終段階に  
入っています。10世紀から現在にわたる歴史が  
展示されるようです。2013年の秋オープンの予定です。詳しくは：  
[www.jewishmuseum.org.pl](http://www.jewishmuseum.org.pl)
- ✓ **ワルシャワではユダヤ文化フェスティバル**が行われています。  
\* 「シンガーのワルシャワ」8月下旬-9月上旬, [www.festiwal Singer.pl](http://www.festiwal Singer.pl)  
\* 「オトファルタ・トワルダ」5月, [www.jewish.org.pl](http://www.jewish.org.pl)

ユダヤ歴史協会へ ⑤ Ratusz Arsenal ④ Metro Ratusz Arsenal: 107番, 111番, 160番, 190番, 226番, 227番, 512番 ① Metro Ratusz Arsenal: 4番, 5番, 18番, 20番, 23番, 24番, 35番  
ユダヤ人墓地へ ④ Cmentarz Żydowski: 180番 ① Cmentarz Żydowski: 1番, 22番, 78番

7



オコボヴァ通りにある  
ユダヤ人墓地は、ポーランドで2番目に  
大きいユダヤ人墓地です。



★ ゲットーの外壁跡は歩道に埋め込まれた  
鉄板で示されています。

「コペルニクスの空」  
指先が宇宙に届きます



コペルニクス科学センター



ul. Wyrzeże Kościuszkowskie 20  
[www.kopernik.org.pl](http://www.kopernik.org.pl)

## 科学の世界に関心がある人のための、夢のような 実験場です。

コペルニクス科学センターでは、自然の驚異を発見し、自分で科学実験をして遊ぶことができます。

ここにはテーマごとに分かれた6つのギャラリーに450点に及ぶ展示品、ロボット劇場と発見者パークがあります。アトラクションの最大の目玉は、宇宙に指先で届くような「コペルニクスの空」というプラネタリウムです。

ヴィスワ川沿いにある発見者パークにも実験施設があります。ここは、夏の週末の夜は野外シネマでポピュラーサイエンス映画が上映されています。

プラネタリウムの入場券はコペルニクス科学センターとは別販売となっています。ショーは時間ちょうどに始まります。上映は真っ暗にする必要があるため途中入場はできません。コペルニクス科学センターでは、「ポーランド・ラジオとコペルニクス科学センターのピクニック」をはじめ様々な興味深いイベントが行われています。

また2012年からは14カ国で開催されているFameLabというサイエンス・プレゼンテーション・コンテストのポーランド版を行っています。

野外シネマ



無料

# おすすめ!

## 耳より情報

- ✓ **コペルニクス科学センター**は体験が面白いので、見学には数時間を予定しておきましょう。ここは、オープン当初から非常に人気があり、入場券購入に少々並ぶことがあります。
- ✓ **「コペルニクスの空」**と名付けられたプラネタリウムでは、宇宙の最果て、火山の中、地球上の生命誕生期まで到達できます。
- ✓ **コペルニクス科学センターはヴィスワ川のほとりに位置しています。**  
「発見者のパーク」は、屋外で見晴らしのいい場所にあり、とてもリラックスできます。

- ✳ **コペルニクス科学センターにはガイドさんを頼まないでください。**  
このセンターは、皆さん自身が研究者や発見者になったつもりで、自由に実験を行うために創案されたものです。

## 🚗 行き方

- 📍 Pomnik Syreny: 102番、162番、185番
- 📍 Most Poniatowskiego: 111番、117番、158番
- 📍 Dobra: 105番、118番、127番
- 📍 Most Poniatowskiego: 7番、8番、9番、22番、24番

8



「考える人」の中に備え付けられた  
潜望鏡のおかげで、人が食べている時、  
働いている時、考えている時、体の組織や細胞では  
何が起きているのかを理解することができます。





全ての時代を代表する  
800点以上の作品が  
展示されています。



ワルシャワ国立博物館 — ■ Al. Jerozolimskie 3, [www.mnw.art.pl](http://www.mnw.art.pl)

## ポーランドの最も歴史のある、充実している 博物館の一つです。

火曜日  
入館無料

国立博物館にはポーランドと世界の古代から現代に至る  
美術品800点以上のコレクションがあります。

そこでは、絵画・彫刻・スケッチ・図・写真・コイン・応用美術・デザインなどが  
見ることができます。

この博物館はヨーロッパのもっとも現代的な博物館の一つです。

コンピューターが制御するLED照はいくつかのドイツの美術館とイギリスの博物館に  
しか設置されていない、当館の自慢の設備です。

またそのLED照明により、明るさを調整して絵の魅力を引き出すことができます。

**\*** 博物館の中庭（スタニスワフ・ローレンツの中庭）は、  
居心地のよいカフェもある魅力的な休憩場所となっています。

# おすすめ!

## 見る

- ✓ ヤン・マテイコが描いた「グルンヴァルト（タンネンベルク）の戦い」というポーランドで最も大きい絵。426 × 987 cmという巨大な作品で、近時の改装で絵を壁から取り外すために、登山ロープ400本が使用されました。
- ✓ **ファラス・ギャラリー**  
ヨーロッパ最大の初期キリスト教時代のヌビア美術コレクション。
- ✓ 「**中世のギャラリー**」では、中世においてポーランドと関わりのあった地域の作品や、他のヨーロッパ地域で作られた多様な展示品を見学できます。

## 耳より情報

- ✓ **ワルシャワ国立博物館**では、**興味深い特別展**を常に開催しています。また講義や地下映画館での映画上映も頻繁に行われています。

## 🚗 行き方

- 📍 Muzeum Narodowe (国立博物館): 111番、117番、158番、507番、517番、521番
- 📍 Foksal: 111番、116番、128番、175番、180番、222番、503番、518番、E-2番
- 📍 Muzeum Narodowe (国立博物館): 7番、8番、9番、22番、24番、45番、77番



たくさんの華やかなLED照明が夜の空間を明るく灯します。それは感動的な体験です。



マルチメディア噴水公園 — Skwer I Dywizji Panczernej, [www.estrada.com.pl](http://www.estrada.com.pl)

## 旧市街とヴィスワ川沿いの間の、風光明媚な場所にあります。

暑い日はワルシャワ市民や観光客の涼み場となり、夜は魔法のような色と形が楽しめます。コンピューターで制御する360ものノズルから、幻想的な形をしたウォータージェットが噴出されます。中央噴水から噴き出す水は高さ10mの噴水スクリーンを作り出し、夏の週末21時にレーザー・ショーが開催されます。300個のLED照明で噴水を1600万色にライトアップできます。


★ 夏の週末には、夕方になると噴水スクリーンで、水と光と音楽の輝くようなパフォーマンスが行われています。

# おすすめ!

## 耳より情報

- ✓ **眺めの最もいい場所**は、聖母マリア訪問教会のそばにあるスロープ上の展望デッキです。席を取るためには早めにお越しください。
- ✓ **近くには**、子供向けのスプラッシュ・ガーデン（水の遊び場）があります。
- ✓ **ショーの時間帯**については[www.estrada.com.pl](http://www.estrada.com.pl)
- ✓ **マルチメディア噴水公園は**  
王宮のそば、旧市街とヴィスワ川のほとりのたいへん美しい場所にあります。

**\*** マルチメディアではありませんが、大変魅力的な噴水が、このほかにサスキ公園内やエドヴァルト・リッツ=シミグウィ公園内、グランドシアターのそばに建っているメトロポリタン・ビルの中庭にもあります。

 **行き方**  
A Sanguszki: 118番、185番

10





ワルシャワ観光案内所  
電話: 22 194 31  
メール: info@warsawtour.pl



ワルシャワ観光案内所の代理店については

[www.warsawtour.pl](http://www.warsawtour.pl)

をご覧ください。

その他の重要サイト:

[www.um.warszawa.pl](http://www.um.warszawa.pl)  
[www.kulturalna.warszawa.pl](http://www.kulturalna.warszawa.pl)

出版社:

Stoleczne Biuro Turystyki

地図:

T. ヴイトコフスカ

写真:

ワルシャワ市観光局記録資料、ワルシャワ市国立公文書館、W.Z. パヌフ (PZ Studio)、S. シチギエウ、  
H. チャルノツキ、E. マイダック、A. クションジェク、D. パヴェンダ、T. ノヴァク、  
P. ヴィエジボフスキ、ワルシャワ蜂起博物館、文化科学宮殿、マリア・スクウォドフスカ= キュリー博物館、  
コペルニクス科学センター記録資料、ワルシャワ国立博物館 (聖アンナ、8-9世紀、テンペラ、  
アヌビス-古代エジプト、ヤン・マティコ-スタンチク、グルンヴァルトの戦い、ポール・セリュジエ-蛇を  
食べる人々、ルーカス・クラナッハ (父) - アダムとイヴ、サッフオーの画家 (紀元前6世紀)、  
サッフオーの絵のあったカルピス陶器、屋根裏 (ギリシャ) 展示会と建物の写真)。

第2版、2012年

無料配布

